

KIS 国際物流ニュース！ (2020年12月号)

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



段ボールの原紙・古紙 国内消費と輸出量の需要と供給

段ボールの原紙の日本からの輸出が増加しているという記事がありました。段ボール古紙の価格が下げ止まったという記事もありました。日本国内出荷は前年同期（1月～9月）4.5%マイナス。国内の製紙メーカーはそれを輸出により受給調整しており、出荷合計は0.1%減にとどまっています。

ここでまず段ボールはほぼ100%リサイクル可能な包装材ということをおさらいしておきます。1.回収・分別された段ボールは古紙として、2.リサイクルされ段ボール原紙となります。3.原紙を加工し段ボール箱をつくる。4.配送等利用されユーザーに届きます。また日本の段ボール回収率は95%以上を誇ります。これらのことを頭に入れて段ボール原紙、段ボール古紙の値動きや輸出関連の記事やニュースを考えてみます。

段ボール原紙の輸出増。背景には中国が古紙輸入を制限し、加工会社は古紙が足りず日本などから原紙を調達していることがあります。次に古紙の価格の下げ止まり。下げ止まりは8月頃、それまで古紙の値下がりは1年以上続いていたそうです。そもそも過剰在庫が強かったが適正在庫に近づきつつあることのようにです。適正在庫となってきた理由はコロナ。古紙の発生が減少、消費低迷によるダンボール需要が落ち込み古紙の発生が減少したとか。2019年10月も消費税増税に伴う消費不振で需要が落ち込み、荷余り感が強まったこともあり。中国への古紙輸出は制限されていますが、ベトナムや台湾、インドネシア向けは伸びています。アジア地域ではコロナ禍による古紙回収の減少を補うため古紙輸入を増やしています。段ボール古紙を含む古紙全般はコロナによって、工場から排出される段ボール、外出自粛で外食向け飲料の荷動き、在宅勤務やテレワークによるオフィスからのコピー用紙の減少も影響しています。

冒頭の段ボール原紙の輸出増(古紙不足)は、中国の段ボールの需要、ネット通販の拡大などが追い風になっています。中国国内では米中貿易摩擦や新型コロナの影響で欧米向け工業製品の梱包用段ボールは低調だが、中国国内の日用品などの梱包が堅調。ネット通販が輸出用に代わる需要を作り出しています。

【御礼】 Forwarder-PRO 新商品発表会 第二部 ウェビナー配信

「Forwarder-PRO 商品発表会」をウェビナー形式でお届けし、多くの方にご視聴いただき誠に有難うございました。ウェビナーの中で、Q&Aをご活用いただき双方向でやりとりさせていただいたことや、発表会会場へはご遠方の方が情報入手できる点など、オンサイトセミナーとは違うコミュニケーションもできたかと思えます。本当に有難うございました。

概要 : Forwarder-PRO 新商品の概要

配信日 : 2020年11月25日(水)

URL : <https://www.kisnet.co.jp/event/1576/>

※申込み受付は終了しています。